

## 第5回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会

日時 令和2年10月28日(水) 午後1時30分  
～午後3時30分

場所 大船渡市役所 2階 議員控室

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 報 告

- (1) 第4回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会について 【資料1】
- (2) 令和2年9月30日開催 市議会全員協議会について 【資料2】

#### 4 協 議

大船渡市スポーツ施設整備基本計画（案）について 【資料3】

#### 5 そ の 他

大船渡市スポーツ施設整備基本計画策定に係る  
経過及び今後のスケジュールについて 【資料4】

#### 6 閉 会

大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会 委員名簿

任期：令和２年５月２９日から所掌する事務が完了する日まで

(五十音順)

氏 名	所 属 等	備 考
浅 沼 道 成	国立大学法人岩手大学人文社会科学部 教授	
上 村 弥	一般財団法人大船渡市体育協会 事務局長	
上 関 み さ	大船渡市健康づくり推進員	
熊 谷 侑 希	NPO 法人さんりく WELLNESS 代表	
古 座 勝 利	一般社団法人岩手県建築士事務所協会 気仙支部 事務局	
金 野 敏 夫	社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 事務局長	
佐 佐 木 浩 美	大船渡市男女共同参画審議会 会長	
志 田 秀 香	大船渡市社会教育委員	
鈴 木 弘	一般社団法人大船渡市観光物産協会 事務局長	
高 橋 大 樹	一般公募	
谷 山 誠 志	大船渡市スポーツ少年団本部 本部長	
新 沼 邦 夫	大船渡商工会議所 専務理事	
新 沼 良 治	立根地区公民館 館長	
三 宅 肇	一般公募	
山 口 康 玄	一般社団法人大船渡青年会議所 理事長	

### 3 報告

#### (1) 第4回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会について

令和2年8月26日(水)、リアスホールマルチスペースにおいて標記会議を開催した。概要については、次のとおり。

〔会議内容〕

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ（新沼委員長）

皆様にはお忙しいところ、そして熱い中御参加いただき感謝申し上げます。岩手県は全国で唯一新型コロナウイルス感染症の患者が出ていなかったが、県内でも13名の陽性者が確認されたところだ。先日、患者に対する誹謗中傷があるという話を聞いた。我々は東日本大震災を経験しているわけだが、「絆」を改めて強く思うところである。

前回会議では、策定に当たっての趣旨や本市の現状と課題、現況評価と環境評価等について事務局から説明いただき多くの御意見をいただいた。本日はいよいよ個別施設計画と主要施設の詳細検討について、素案を事務局より説明いただく。忌憚のない御意見を伺いながら本委員会を進めていきたいので、よろしくお願いしたい。

#### 3 報 告

第3回大船渡市スポーツ施設整備基本計画検討委員会について

事務局より、資料1のとおり説明した。

→ 意見等特になし。

#### 4 協 議

大船渡市スポーツ施設整備基本計画（素案）について

事務局より、資料2のとおり説明した。

〈意見・質疑応答〉

- ・ （谷山誠志委員）市営球場が昭和39年に完成したとのことだが、当時は車を持つ家も少なく風呂も銭湯に通っていた時代である。それ以前の計画による整備であるのだから、時代背景からも駐車場が足りないのがわかるが、その後も駐車場が増えなかった理由は何か。

→ （生涯学習課長）駐車場を整備する用地が見つからなかったということだと思う。市全般に言えることだが、平場については住宅地になっており、その他は急傾斜地が多い。山を削らないと平場が作れないということが大きな原因かと思う。

- ・ （古座勝利委員）野球場の整備は個人的には必要だと思っているが、今現在、沿岸地区で県大会等の公式戦を開催しようと思った時に、陸前高田市や住田町、釜石市平田の野球場で対応できるものなのか。大船渡に新たに整備しなくても、公式戦の呼び込みはできるものか

→ （新沼良治委員）県大会レベルで、今出された3つの球場の中で1番使いたくないのは平田球場だ。駐車場が足りない。路上駐車することになるため、関係者が最も気を遣う球場だ。県大会の対象となると春・秋の大会になると思うが、昔よりも予

選通過チーム数が増えているため、最低3つの球場は必要になると思う。

- （谷山誠志委員）少年野球程度あれば大会を開けると思う。実は今年8月に平田球場を主会場に、高田松原球場、大船渡市の市営球場、山田町の球場を使って全国大会を開催することになっていた。宿泊なども考えて私は無謀だと思っていたが、残念ながら中止となった。

昔、名球会が大船渡に来た際に、「何万人収容する球場なのか」と聞かれ、0.2万人だと答えたらすごく怒られた。また、当時からシャワーを使うのが当たり前になってきていた。施設面から考えると大会を開くのは難しいかと思う。

- ・ （浅沼道成委員）市営球場に関して言うと、軟式野球をする人は増えていてそれなりに使われているのが現状である。硬式を主眼にすると、新しい球場では春・秋の県大会等高校野球のほかは一般の方や社会人のチームとかどのくらいの利用を見込んでいるのか。

- （協働まちづくり部長）具体的な数字というのはないが、硬式と軟式どちらでも使いたいという意図がある。市内の高校には練習試合等で結構な頻度で使われると見込んでいる。せっかく整備するのであれば、硬式軟式どちらにも活用できる球場を考えている。

- ・ （浅沼道成委員）おっしゃることはよく分かるし理想的だと思うが、現実のところ、今の話を聞くと、市内の高校のチームのために整備するというのが強く聞こえるが、市民の方々が「ここは野球が盛んな地区だから、ぜひ実現させてほしい」というなら私も賛成するが、市民の方々が納得するのかな、というところがちょっと気になった。いろんな意味で高校野球の環境が良くないから整備する、というのが主なのかなと思った。それなら隣の陸前高田市の施設を使わせてもらうということも考えた。

短絡的に、県内市町村の野球場を調べてみたら、驚くことに全ての市町村にあることがわかった。みんな、野球場を持つことにステータスを持っていた時代の名残だと思う。使われなくて困っているところが結構あるが、どこも目指すところは高校野球の県大会である。大船渡市も市としてそこを目指してがんばっていくというのであればいいのかなと思う。今のままでは弱いかなと感じていて、ましてや今後10年は今の球場に手を付けないとなると、10年後の社会が、さらなる少子化などどうなっているのかわからない。案として、整備更新を持っていくことはいいと思うが、1番に出てくる必要はないのかなと思う。むしろ市民体育館の方に市民の方々は意識が向いているので、そちらを考えながら野球場も考えていくというのが、難しい選択ではあるがいいのではないかな。正直なところ、この素案を見た時に、野球場は整備することで決定していると思った。実質、場所も決まっている。赤崎グラウンドも見させてもらったが、中途半端に感じた。駐車場も増やさなければいけないし、もしかしたらサブグラウンドがあった方がもっと人が呼べるのでは。あそこに野球場を整備したら、同時に大会を開催することはできないし、駐車場の200台も気になった。土地が足りないというのは現実問題なのだから、なんとか工夫があれば良い。今ある施設をそのまま移してくるような発想だと、いい施設整備のアイデアが見つからないと思う。

- ・ （三宅肇委員）今言われたように、高校野球のための球場というわけではないが、最低でも高校野球をやれる程度の規模の球場がほしいということ。‘高校野球のため’ではない。軟式の専用球場というのはあり得ないと思うので、硬式も軟式もできる球場ということで新球場が必要だと思うし、陸前高田市、住田町と大船渡市の3つの球場があ

れば、球場の中身にもよるが、県大会程度の大会は開催できるのではないかと思います。県内どこを見ても、大船渡市の球場が1番質の悪い球場だと感じる。

また、総合運動公園の整備みたいな話は無理だと思うので、今ある施設をどう整備していくのが、この委員会での話であり、あまり夢のある話にはできないが、野球場一つとっても、計画だけで10年近く検討していくことになっている。まだまだ時間があるので、特に老朽化している施設であることも考えると、もっと短いスパンで整備を実現させることを考えていかないと。予算の関係もあると思うが、ぜひお願いしたいと思う。

もう一つ、赤崎町のスポーツ交流ゾーンが今度整備される予定で、もう工事の発注もされたと思うが、今回は敷き均し工事だけで、ウワモノは決まっていなくてこういう工事を進めるということか。

→（生涯学習課長）地元（中赤崎地区）とすれば野球場を中心としたスポーツ交流ゾーンを整備するんだ、という意向があるが、今回については、何でも使えるような広場を作ることとして、クレイ舗装の工事と駐車場用の砂利敷き、フェンス設置等を行う予定としている。そのウワモノについては、これから決めていくことになる。

- ・（三宅肇委員）ここ（資料）にあるとおり、野球場の可能性もあるということか。

→（生涯学習課長）市内で4haを確保できる用地は3つで、その中で有力地が中赤崎地区なので、整備する可能性は十分にある。

- ・（新沼良治委員）事務局の後押しというわけではないが、現状として、今、大船渡高校のグラウンドでは練習試合ができないそうだ。昔は周辺に家が建っていなかったが、今は家が建っていてファールボールがガラスを割ったりしてクレームが出るため、外に出て行って試合をしている。大船渡東高校は国道45号に隣接していて、ファールボールが道路まで飛んで行く。事故があったかどうかまではわからないが、そういう現状にある。私は市民でありながら、これまでほとんどを市外で過ごしてきた人間だが、外から見ると大船渡市はうんと野球が盛んな地域だと思う。大人の方々も盛んだし、少年野球も中学校も野球熱は高い。子どもたちの野球は、猪川、盛、立根で合同チームになるような話も耳に入っている。10年先どうなっているかわからないが、それを視野に入れてもいいのかなと思っている。資料そのものは良くまとめたいただいたと感じている。もう一つ、付け加えるのであれば、ちょっと難しいようだが、市民体育館をなんとかできないのかなと感じている。いろんな施設を昔作った時に、その時の事情があったと思う。前は、全て中途半端だとお話したが、いろいろ検討していただいて、市民の方々が「良くなったな」と思ってもらえるといいのかなと思う。

- ・（上関みさ委員）住田町の野球場は収容人数1,200人に対して駐車場300台、整備しようとしている球場は収容人数2,000人に対して駐車場200台で、もう少しスペースが広い方がいいのではないか。

→（生涯学習課長）4haのうち、約0.9haが普通車200台、バス10台分の駐車場用地となるが、駐車台数を増やすとなるともっと面積が必要になってくる。そういった土地が市内にはなかなかないので、このくらいの台数としている。

- ・（上関みさ委員）赤崎グラウンドの方も駐車場が足りなくて増設したという話だったので、最初から想定をして多目に作っておくのがいいのではないかと。

→（生涯学習課長）中赤崎地区はこの4haのほかに、現在の県道の海側の土地も駐

車場整備したいという構想はあるが、民有地が多いので多額の取得費や整備費が想定されている。そういう構想はあるのだが、実際に中赤崎地区に野球場を整備するとなった場合には、そういう別な土地を駐車場として確保していくことも考えなければいけないと思っている。

- ・（浅沼道成委員）確認だが、この資料の中身の検討はこの場で行うということで良いか。野球場を整備するのであれば早く整備した方が良い。そこは三宅委員の意見に賛成だ。候補地3（萱中地区）の学校用地はどうか。ちょっと山間だがここであれば駐車場の問題もOKだ、等もっと具体的な意見交換を私たちでやるべきなのか、どこまで審議したらいいのかよくわからない。私は、単純に外の（市外の）人間からすると、駐車場も考えれば候補地3の土地がいいのかなと思う。

→（新沼良治委員）この候補地3は写真の上部に校舎が建っていて、壊す必要がある。

→（浅沼道成委員）県の所有地だろうから、いくらか融通が利くのではないかな。交渉次第だと思う。なぜ萱中地区かというと、跡地利用ということもあるし、赤崎地区は中途半端。地域の方々が納得するのであればサブグラウンドを作って、地域の方々も使えるようにいい形でスポーツエリアした方が良いのでは。野球場を整備してしまうと、反対される気もする。

→（生涯学習課長）萱中地区だが、元農業高校跡地で校舎もまだ残っていて県有地になっている。メリット・デメリットを整理しているが、用地の取得費におよそ3億7千万円を見込んでいるとともに、用地内の2mほどの段差の解消も必要になる。校舎の解体費もかなり必要になるだろう。費用面を考えると、面積的には広いがあまりメリットがない土地かなと思っている。

→（浅沼道成委員）校舎を合宿所にするとかいろいろな考え方があると思う。発想を変えた方が良い。これを壊すのではなく、どう活かすか。県の土地なので市がどこまで手を加えることができるのかわからないが。発想を変えないとこの問題は解決しない。土地がないから駐車場が足りないで終わりそう。突飛な考えがあってもいいのではと思う。

→（協働まちづくり部長）この計画は基本計画なので、整備の詳しい内容までは踏み込む必要はないものと思っている。方針をきちんと明らかにしていくことがこの基本計画の役割。ただその中で、新たな投資になりそうなものについては、当然、議論的になるので、ある程度の検討を深めるということで、整備基本計画ながらも3施設（市営球場、市民体育館、市民テニスコート）については踏み込んだ内容を記載し、このようなまとめとしたところである。

なお、旧農業高校の校舎については耐震化されていないため、再利用するには耐震化工事が必要になる。また、校舎を利用しない場合は解体費用が必要になる。

- ・（古座勝利委員）市民体育館について、現状と課題の中で「耐用年数が18年残っている」ということだが、個別施設計画後期には屋根修繕やエレベーター設置などを予定しているし、今後18年間維持していくことを考えると外壁の補修など維持補修の費用が莫大に見込まれる。こういったことを考慮して先行して整備するということも必要ではないか。

→（生涯学習課長）市民体育館については、東日本大震災で被災し、9億円近いお金をかけて復旧している。耐用年数60年を待たずに整備するとなると、災害復旧の9億円が無駄になってしまう。なので可能な限り耐用年数まで使用する、もしくは長

寿命化して 70 年でも 80 年でも使いたいという考えである。

- ・（鈴木弘委員）感想から言わせてもらおうと、「がっかりした」というところが正直なところだ。令和 10 年度までの期間で最も市民が望んでいるであろう、市民体育館や市営球場の更新がされない、それに対してがっかりしたという意味である。理由は耐用年数や市の財政問題のようだが、資料の表記を見ると、市営球場については「取り組まなければならない喫緊の課題」とあるのに、検討に 8 年以上を要する計画になっている。理由はあと 10 年使えるからという。市民体育館については、昨年のスポーツ施設整備検討委員会の中でも「耐用年数を待たずにできるだけ早い時期に整備してほしい」という意見があったと記憶している。計画案の中でも「早期の更新を求める声が多く寄せられています。」とありつつも、あと 18 年耐用年数が残っているとの記載もある。昨年の検討委員会から携わっている身からすると、せめて市営球場か市民体育館のどちらかは、芽が見えてくるのかと期待していたが、そういう意味でがっかりしてしまった。

少し質問させてもらうが、市民体育館のエレベーターの件をはじめ、予算化されているものはかっこ書きで金額が入っているとの説明だったが、このうちエレベーターの設置にはどのくらいの費用を見込んでいるのか。それから、三陸 B & G 海洋センターのプールについて、適用手法は「存廃について検討」とあるが、適用手法の考え方からいくと「廃止」になるのではないかと思うが、いかがか。

また、市営球場の場所選定に関わって、中赤崎地区のスポーツ交流ゾーンが、何を建てるのか決まらないうちに整備が始まっている。それは予算の問題があるからということだった。中赤崎地区の条件を良くした状態で「ここが 1 番良いですよ」と言わると、私たちにその同意を求められているような気がしてならない。前にも話したが、普通であれば、整備する野球場はこういう施設で土地の規模がこれくらい必要だから、それに見合った土地を探す、というのが普通の流れだと思うが、整備が先行していてお金もかかりませんよと言われ、いかにもここで容認するようような、この会議の場で推されたから（中赤崎地区に）決めたんだ、というふうには絶対にしていただきたい。

- （生涯学習課長）市民体育館のエレベーター設置については約 3 千万円を予定している。個別施設計画の実施内容について、建物のある施設については、市公共施設施設等個別施設計画が既にできていて、そちらでまとめることになっている。そこに登載されているものは金額を入れて個別施設計画に記載した。金額が入っていないものについては、この検討委員会の内容をまとめてこれから計画にしていくものである。もう一つ、B & G プールの適用手法についてだが、ここは再度検討させていただきたいと思う。

- （鈴木弘委員）何度も言うが、前回会議の資料ではすでに「廃止する」と記載があり、適用手法の表からいってもこれしかないだろうと思う。修正するのであればこの辺との整合性を取る必要があるだろう。

- （生涯学習課長）その部分を直すことも含めて検討したい。

- ・（上関みさ委員）今回の資料を拝見したが、「市民体育館の周辺について、一帯を市内スポーツの拠点エリアとして位置付け」とあり、素敵な考え方だと感じた。だが、前回の資料、話し合いの中でも「市民ニーズを大切にしていきたい、してほしい」とたくさん出てきたが、整備時期を含めて、市民ニーズをどのように捉えているのか、考えを伺いたい。

- （生涯学習課長）競技種目によって市民ニーズは色々あって、いいものをまとまっ

たところに整備してほしいというのが、市民の考えではあると思うが、今ある施設をいかに使いながら使いやすく整備していくのかというのは難しいことだと思うので、なんとかできる範囲で、市民ニーズを把握しながら反映させていけるようにがんばっていきたいと思う。一気にあれこれ整備していくことはなかなかできないという市の事情も御理解いただきたい。

- ・（上村弥委員）施設を管理する者として、市民体育館で今問題になっているのは、トイレ配管の一部が老朽化して頻繁に詰まっている。業者からも更新の必要性を指摘されている。こういった細かい、念入りな聞き取り調査を行った上で、計画に登載していただければと思う。市営球場についても電光掲示板が老朽化して正しい点数が表示されないことがまま出てきている。整備を求めているが、予算化されない事情もあり、県大会規模の大会が開催されても恥ずかしいところがある。また、市民ニーズということで、市民が使う施設ではあるが、「見る」施設のニーズもある。一流の選手が来て一流のプレーを見えるということも必要なこと。数年前に、岩手ビッグブルズが試合の開催検討のため市民体育館を視察に来たが、いまだ実現していない。沿岸では久慈、宮古、釜石、陸前高田の主要な自治体全てで開催していて、開催していないのは大船渡だけになってしまった。一流のプレー、雰囲気など見ることによって市民の意識が高まったりするので、自分たちがプレーするよりも、目標を見つける上で、そういう外部の人たちのプレーを見せられる施設が望ましいと考えている。加えて、照明のLED化が今年度から進められるようだが、大変ありがたいと思っている。その中でカラスの巣対策を実施していただきたい。近隣の住宅に糞の被害も発生したりしているので、対策があればそれを行った上で、LED化をお願いできればと思う。

→（生涯学習課長）今回の計画では大規模な実施内容をあげており、日頃の維持修繕に含まれるようなものは記載していないので御理解いただきたい。

- ・（金野敏夫委員）テニスコートについて、子どもからお年寄りまで体力に応じて楽しむことができるし同じコートで軟式と硬式がプレーできる。レクリエーション的な使い方もできるし試合もできるということで、収益性が高いのも納得できる。増設すれば大会も開催できるのでそれは非常にいいことだと思う。既存のテニスコートと田中島グラウンドの間に、衛生センターにつながる道路があるが、あれはどうなるのか。

→（生涯学習課長）2 m程度の道路があるが、あれは市道ではなく通用道路だったはず。整備の際には、生涯学習課だけで決められないと思うので、配慮していきたい。

- ・（古座勝利委員）市民体育館について、実施時期の検討で、耐久性については著しい問題を抱えているわけではないとあるが、機能性については全然満足しているわけではない。にも拘わらず、「慎重に検討していく」というのは、行き当たりばったりな考え方で、今までの会議が何だったのかと本当に残念に思っている。復興関係の補助金を使った事業について、例えば（耐用年限に）先行して見直し計画を建てて解体した場合、その補助金は返還する必要があるのか。

→（生涯学習課長）国の補助金であれば、整備から10年が目安で、違うものに転用したとなれば返還の必要はないが、壊す（解体）となると補助金を返還する必要があると思う。

→（古座勝利委員）ということは、18年耐用年数が残っているということを考えると10年間は建替え計画はできないということか。



- （生涯学習課長）補助金を返すのであればできないことはないが、そこまでの財政的な余裕はないと思うので、現実的ではないと思う。
- （古座勝利委員）そもそもこの委員会の中で、そういった話がないままに話が進んでいっている。みなさん今初めてこのような内容を聞いたと思う。細かい話を知らないまま議論をしても意味がないのではないかな。
- （協働まちづくり部長）市民体育館の今後の検討について、災害復旧の内容については基本的には「原形復旧」だったので、整備内容の選択肢はなかったのだと思う。その（災害復旧の）際にも、できるだけ早く何とかして使えるようにしてほしいという声を受けて、工事を急いだ経緯もある。今後、建替えるとなった場合、このくらいは施設がもつ、使えそうだとすることはお示した上で、この委員会の声や市民の声を聞くなかで、「もっと整備を急いでくれ、ぜひとも建替えてくれ」ということになれば、当然財政的な負担も考慮することになるが、建替えの検討を加速させることも必要になると考えている。我々担当部署としては、スポーツ施設の整備をできるだけ優先したいと考えるが、市全体としては多くの公共施設を抱えていることから、市公共施設等総合管理計画を策定した経緯もある。その中でスポーツ施設の整備を論じなければならないという点を御理解いただきたいと思う。そうした中でできるだけより良い方向に進めたいと考えている。本日いただいた御意見を踏まえて今後、素案をさらに練り上げ、案という形でお示しし、最終的には計画の形に持っていきたいと考えている。その過程の中には、パブリックコメントといって市民の方々の意見を聴く機会もあるし、市民の代表である市議会へ説明する機会を設けることも必要になる。そういった段取りを経て案から成案へと進めていくつもりである。いずれにせよ、今回の内容をもって承認してくださいということではない。ゆえに今回は「素案」という形でお示ししている。いろんな意見をお寄せいただいてより良いものにしたいと考えている。市営球場等、今までいろんな意見をいただいていた。今般は、さらに客観的な観点ということで、国のガイドラインに基づく評価を織り交ぜた。現状のままでも良いという意見があることも承知しているが、評価においては「建替え再整備」の方針が出ていることは重く受け止めなければならいと認識している。これらを踏まえて今回の素案ができていることを御理解いただきたい。
- ・ （新沼良治委員）予算も厳しい、土地も厳しいという中身を理解した上で、私のこうなればいいなという考えをお話ししたい。今日は野球場と体育館が新しく作られればいいなというお話だが、もしそうなることがあれば野球場と体育館を隣接させて、駐車場を同じ敷地内に整備する。できれば陸前高田市の夢アリーナくらいの広さの駐車場があると、一度、東日本大震災を経験しているので、市民の避難場所とか自衛隊の基地とかにできると思う。乗用車も相当な台数を停められるので、そういう施設になればいいなと考えている。
- ・ （浅沼道成委員）確認だが、①市営球場の建替えは決定、②体育館については機能を良くしたいが当面難しい、③テニスコートについては増設する、ということはこの検討委員会の皆さんが合意して決めたということで進めるということによろしいか。正直、私は困るなという気はするが。ここは曖昧にしない方がいい。あくまで案を決めたということ、最終的な決定は議員さんがするのだろう。委員会としては先ほどの3点を了承、この検討委員会で提言したということによろしいか。テニスコートについては、前期でできる予定で、これが1番見えやすい成果になるだろう。変わる可能性があるのもそれ

は構わないが。

おそらくこの後検討委員会はないのではないかと。パブリックコメントはあるようだが、おそらく最後になる可能性もあるのでちゃんと確認しておきたい。みなさんふわふわしていて、不本意だ、とかいろんな意見はあるが、ちゃんと了承したという責任はあるのか確認したい。みなさん、どこかで、もっといい答えがほしかったな、でも現実には現実として受け止めるしかないか、みないなところがあって、私もそれはしょうがないと思うし、委員長さんが苦労されると思うので、しっかり確認しておきたい。

- （協働まちづくり部長）検討委員会はこれで最後ではなく、素案から案になる段階で再度お諮りしたいと考えている。市営球場については、建替え再整備について検討しますということを、市民体育館については更新に向けて検討しますということを本計画上にうたうものであり、こういうふうに整備します、という具体的なことは施設ごとに設けられる検討委員会で決められる。「検討していく」という方向性を、この計画できちんと決めることが望ましいと考えている。
- （浅沼道成委員）去年も検討して、今年も検討して、ただ意見を聞くだけになっているような気がして蛇足のようなお話をしてしまった。三宅委員がおっしゃったように、やる（整備する）ならばやくやったら、という意見に賛成。この場ではそのことについて議論しなかった。
- （協働まちづくり部長）今日いただいた意見をもとに、素案を再度検討していく。それでもって、次のステップに移っていくつもり。今日このままの形で進んでいくということはないので、議論を踏まえてさらに吟味していくものである。

- ・ （新沼委員長）「Ⅶ個別施設計画」の中で、スポーツを通じた交流人口の拡大や近隣自治体との連携をうたっているのは、体力的にも全てに関してこの地域を元気にしたいという計画だろうと思う。この基本を計画に取り入れていくことをお願いしたい。施設の再整備もやるなら早く、その方が交流人口の拡大につながるだろうし、10年後には人口減少で、今以上に人を集めようと思っても無理な話だと思う。予算の問題とかいろいろあると思うが、（施設整備を）やるならいつなのか、ということが、皆さんの意見を聞いていても節々に出てきた。ぜひこの意見を次回の会議までに計画の中に取り入れていただければ幸いである。

## 5 その他

資料の取扱いについて、まだ公表できる段階にはないので、部外秘ということで取り扱いには十分御注意いただきたい。

次回日程について、9月は市議会の開催等もあるので少しお時間をいただき、その間に計画の修正等進めさせていただいて、10月中に再度お集まりいただき計画案に対して御意見いただきたいと考えている。詳細な日程、場所等については決まり次第、書面にてお知らせする。

## 6 閉会

### 3 報告

#### (2) 令和2年9月30日開催 市議会全員協議会について

令和2年9月30日(水)、市議会全員協議会において、大船渡市スポーツ施設整備基本計画(案)について中間報告を行った。概要は次のとおり。

##### 〈意見・質疑応答〉

##### ○ 今野善信議員

- ・ 計画では、施設の安全性・機能性の観点から評価を行ったとのことだが、競技から見た機能性評価は行わないのか。スポーツ施設の評価をハード面だけで決めてしまうのは疑問だ。スポーツ面での将来を見据えた在り方が入っていない。大規模な大会の開催の可能性や競技に関する機能性をしっかりと評価してほしい。
  - 今回の計画策定に伴う施設評価は、国が定める「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に基づき行うものである。競技・種目によって機能性の評価は大きく変わってくることから、今回はガイドラインに定める、「安全性・機能性」、「経済性」、「耐震性」の項目による評価を行ったものである。
- ・ 計画を見ると、新しい整備はほとんどないのだろうと思う。スポーツ振興に寄与する部分を感じられない。施設整備にはスポーツを通じて市民生活の向上を目指すという側面もある。
  - 市が本年3月に定めた「大船渡市公共施設等個別施設計画」において、原則として既存施設の長寿命化を図っていくことが定められており、本計画においても、それを踏まえて計画を策定していくこととなる。スポーツ施設だけでなく、市公共施設全体としての方針であることを御理解いただきたい。
- ・ 3月に提出された報告書を見ると、市内に県大会を開催できる施設がないとある。財源不足等の要因もあると思うが、今後10年それでいいのか。スポーツを通じたまちづくりの考え方を取り入れてほしい。関係者に夢のある、期待の持てる整備をお願いしたい。
  - 今回はまだ協議中であることから、「Ⅶ 個別施設計画」の部分は調整中とさせていただいた。「夢のある整備を」というお話だが、関係者からの意見を拾いつつも、財政負担など考慮した上で現実的な計画にならざるを得ないことは御理解いただきたい。
- ・ 関係者と話し合いを進めながら、整備基準になるものをしっかりと作っていただきたい。

The only  
full-color newspaper  
in Japan

## 東海新報

令和2年(2020年)

10月1日 木曜日

©東海新報社 〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9-1 TEL0192-27-1000 FAX0192-27-2154 振替口座 02300-9-188 https://tohkaishimpō.com/

医療法人きくた  
**菊田外科・泌尿器科**  
大船渡市大船渡町字明神前11-1  
TEL0192-26-4075

大船渡市スポーツ施設の評価結果一覧

施設名	整備 年次	構造	環境評価(2次評価)		
			政策優先度	基本方針	適用手法
市営球場	S39	R C造	高	機能保持	建替再整備
田中島グラウンド	S62	—	—	機能保持→ 総量コントロール	用途転用
赤崎グラウンド	H26	S造	—	機能保持	長寿命化
三陸総合運動公園	H3	—	—	機能保持	長寿命化
山村広場	S60	—	—	機能保持	長寿命化
盛川河川敷公園・多目的広場	S57	—	—	機能保持	長寿命化
盛川河川敷公園・少年野球場	S60	—	—	機能保持	長寿命化
市民体育館	S53	S R C造	—	機能保持	長寿命化
三陸B & G 海洋センター	H2	R C造	—	機能保持	長寿命化
三陸体育館	S50	R C造	低	総量コントロール	用途転用
市民テニスコート	S60	S造	—	機能保持→ 施設不足の解消	新規整備 (拡張整備)
三陸総合運動公園 テニスコート	H3	—	—	機能保持	長寿命化
市民弓道場	S57	S造	—	機能保持	長寿命化
三陸B & G 海洋センター プール	H2	S造	低	総量コントロール	廃止 (存廃について検討)

スポーツ施設  
整備基本計画案  
中間報告で評価結果示す

## 市営球場は「建替再整備」

大船渡市

大船渡市は、9月30日に開かれた市議会全員協議会で、年度内策定を目指す市スポーツ施設整備基本計画案の中間報告を行った。この中で、市内14施設を対象に行った安全性・機能性などによる現状評価(1次評価)に加え、個別施設の基本方針などを定めた環境評価(2次評価)を説明。整備から半世紀以上が経過した末崎町の市営球場は「建替再整備」で、盛町の市民テニスコートは「拡張整備」、同町の市民体育館は「長寿命化」など示された。市では今後、施設別の整備方針などを固める。

同計画は、今年2月に策定された三陸町・三陸B & G 海洋センター・三陸B & G 海洋センタープールの個別施設計画に該当し、加えた計14施設。中間報告は、将来を見据えた効果的、効率的な施設運営を目指す「スポーツ施設ストック適正化」の体質活動と健康づくり、建築、福祉、観光などの分野の関係者15人で組織する検討委員会が寄せられた意見などを踏まえながら検討、調整を重ねてきた。

計画期間は、本年度から10年度までの9年間。対象施設はグラウンド7施設、体育館3施設、テニスコート2施設に、盛町の市民弓道場1施設を加えた計14施設。安全性・機能性の評価で、

改修の必要性がある(「劣」となったのは、市営球場と三陸体育館(三陸町吉浜)、海洋センタープールの3施設。このうち、市営球場は整備から56年が経過し、計画期間中に市公共施設等総合管理計画で定めた耐用年数の60年を超える。三陸体育館は10年以内に大規模改修が必要となり、海洋センタープールは維持管理コストが増加傾向にある。

2次評価では、政策優先度を判断。市営球場は市内唯一の専用野球場である半面、安心して硬式野球が行えない現状や、一定規模の大会誘致が見込まれるとし「優先度は高い」との結果に。機能保持に向けた手法として「建替再整備」が示された。

三陸体育館はスポーツ施設としてではなく、隣接する吉浜小の学校施設に利用され、海洋センタープールは機能向上を図っても利用状況の改善は見込めず「優先度は低い」とした。三陸体育館は学校利用、海洋センタープールは廃止も含めて検討する。

1次評価の安全性・機能性で「良」と判断された施設は、基本的に維持を図る。

一方市民テニスコートは、令和元年度の稼働率が94%を超え、市外在住者の利用も多いことから拡張整備の方向性が示された。具体的には、隣接する田中島グラウンドの用途転用による対応が想定される。

今後は個別施設計画の取りまとめに入り、この中で具体的な整備方針や実施内容を感じ込む。市は「施設内容の安全性、持続性を強く意識すること」ともより、交流の促進や拠点性、広域連携なども考慮する」としている。

市民体育館は「長寿命化」を開催するほか、来月開催予定の市スポーツ推進協議会でも計画案に関する協議の場を設ける方針。再度市議会全員協議会でも、意見募集を経て来月1月の策定を目指す。中間報告で示された施設ごとの主な評価結果は別掲。